

速報!安城の遺跡から //

令和4年度発掘調査結果

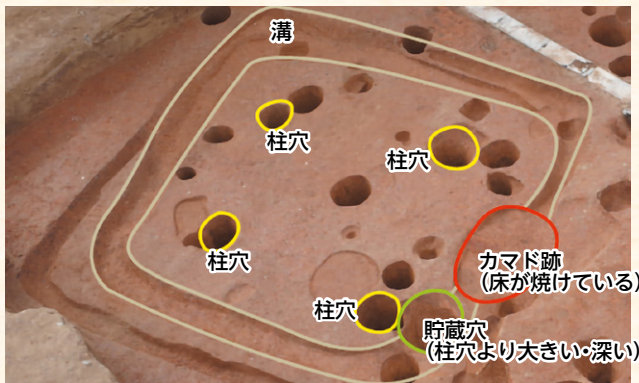
令和4年度に安城市が実施した調査は、発掘調査11件、試掘・確認調査21件でした。今回はそのうち、岩根遺跡(小川町)で実施した発掘調査について紹介します。



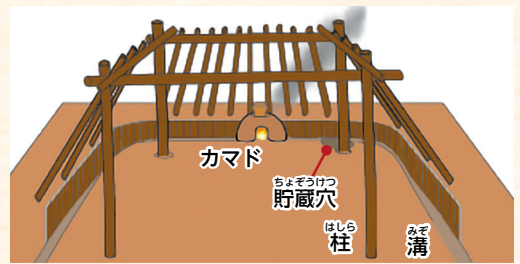
▲岩根遺跡

9 岩根遺跡って?

岩根遺跡は古代から中世の集落跡です。遺跡の近くには、古代寺院跡や戦国城館跡があり、それらと関わりがあったと考えられます。遺跡では、特に奈良時代の家の跡が多く見つかっています。今回は個人住宅建設に伴い発掘調査を実施しました。



▲発掘調査で検出される竪穴建物跡の例



▲竪穴建物イメージ図

9 奈良時代の家は、どんな建物?

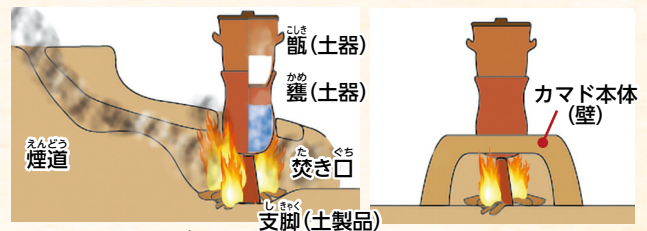
奈良時代の家は、地表から床面を低くして造られる「竪穴建物」です。壁際には溝が掘られ、壁は低く、屋根は茅等を架けたと考えられており、カマドが壁際に取り付けられていました。

9 奈良時代のカマド跡

調査で見つかった竪穴建物跡の中に、カマド跡が良く残る建物跡が1棟ありました。本市では、カマド跡が良く残る建物跡は少なく、炭のかけらが集中しているか、土が焼けている状態で見つかり、カマドがあったと推定することが多いです。



今回の調査で確認したカマド跡は、本体の壁がしっかり残っており、構造がよくわかります。カマド跡やその周辺からは、調理に使われた土師器の甕が出土しました。



▲カマドイメージ図



▲奈良時代のカマド跡



▲出土した土師器の甕

文化振興課からのお願いとお知らせ

◆家を建てる際は一報を

開発等でやむを得ず破壊される遺跡について、「文化財保護法」に定められた事項に基づき事前に発掘調査をしています。住宅建設等の開発工事を行う計画があれば、文化振興課まで連絡してください。

◆調査成果の展示

今回紹介した調査成果は、埋蔵文化財センターで展示しています(パンフレット有)。
 展示日時 (火)~(日)午前9時~午後5時(月)が祝日の場合は開館、年末年始休館)